

2019.5.20

NPOフォーラム・だより No.88



NPO法人安房文化遺産フォーラム (代表 愛沢 伸雄)

〒294-0036 千葉県館山市館山 1016 さらしな館 TEL&FAX : 0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト http://bunka-isan.awa.jp

会員・寄付募集中!

年会費=正会員 A:2,000 円 (総会議決権あり)・準会員 B:1,000 円・法人 10,000 円

(ゆうちょ銀行口座: 00260-1-97307 名義 NPO法人安房文化遺産フォーラム)

■ 安房歴史文化研究会・公開講座

主催: 安房歴史文化研究会 問合先: 石崎 0470-23-6677

5月25日(土) 14:00~16:00

会場: 館山市コミュニティセンター

(資料代 200 円)

講師: 関 和美 「安房地域の図書館史」

明治期になると近代的な文庫や図書館が設置され、安房地域では佐久間村(現鋸南町)の「御大典記念私立奥山文庫」や館野村(現館山市)の「簡易図書館」などが開設されました。千葉県教育史に位置付けられる旧安房南高等学校の図書館資料や、戦後日本の学校図書館の発展に重要な役割を果たした長狭高等学校図書館活動の資料などを紹介します。また、鴨川地域で戦前から文化活動のリーダー的存在であり、鴨川町図書館長としても功績があった原進一医師を取り上げ、今を生きる安房の「図書館人」について考察します。

NPO会費納入のご案内

会費未納者の方は、同封の伝票にて
ご入金をお願いいたします。

7月7日(日)午後には総会がありますので、
A会員の参加者は当日支払いでOKです。

かにた婦人の村からボランティアのお願い

5月24・25日(金土) 8:30~14:00 エマオバザー

6月5日(水) 8:30~12:00 草刈り

安房高等女学校木造校舎を愛する会

6月16日(日) 8:00~9:30 旧安房南高校の草刈り・掃除

安房西高校 文化祭JRC部 ウガンダバザー

6月29日(土)

9:30~14:00

皆さん寄ってね。

◆ NPOツアーガイド&講演のスケジュール ◆

* 10名以上のスタディツアーガイド(有料)を承っています。…座学・テキスト付=@1,500 円/赤山のみ=@500 円×人数

* 毎月第一日曜の午前は、個人や小グループを対象に、赤山地下壕ガイドサービス(無料)を実施しています。

5月28日(火) 11:00~12:00 南房総市立嶺南中学 2年 12名=赤山・座学

6月 2日(日) 9:30~12:00 赤山地下壕ガイドサービス

6月 5日(水) 14:00~14:40 千桜会(共立女子大学同窓会) 20名=青木繁「海の幸」記念館

6月 5日(水) 15:00~17:00 女子美術大学付属中学 2年 150名=青木繁「海の幸」記念館・布良崎神社・布良漁港

6月 6日(木) 9:00~15:00 // =写真会

6月 7日(金) 15:00~17:00 日本電気計器検定所労働組合 25名=赤山・座学

6月 8日(土) 16:00~18:00 明星大学教育学部 15名=座学

6月 9日(日) 8:00~15:00 // =大巖院・赤山・かにた村・青木繁「海の幸」記念館・布良崎神社

6月10日(月) 9:30~15:00 JRC南千葉ブロック 20名=座学・赤山・かにた村

6月10日(月) 10:30~16:30 年金者組合香取支部 8名=座学・赤山・かにた村・大巖院

6月11日(火) 9:00~12:00 // =青木繁「海の幸」記念館・布良崎神社

6月13日(木) 11:00~11:40 みすず会 10名=赤山

6月15日(土) 10:00~12:00 レイラ共済会 25名=座学・赤山

6月18日(火) 10:00~12:00 南房学園1年=講演「館山まるごと博物館」

◎ 房総アワビ移民研究所、南房総市まちづくり補助事業

NPOと連携し活動していた、まちかどミニ博物館「千倉アワビ塾」は「房総アワビ研究所」(鈴木政和所長)として生まれ変わりました。明治期に米国モントレイに渡ったアワビ漁師のリーダー・小谷仲治郎宅(千倉町千田)より発見された大量の古文書調査につき、このたび南房総市まちづくりチャレンジ事業に採択されました。古文書調査に関心の深い方はNPO事務局までご連絡ください。

また、同宅に残されていた義弟の画家・倉田白羊の描いた襖絵(右図)は、GWの「海とアートの学校まるごと美術館」に展示され、多くの反響を得ました。



海とアートの 学校まると 美術館



めら 布良の海を愛した画家たち展 ～青木繁・寺崎武男・倉田白羊～



2019.4.27～5.6 ＊ゴールデンウィークに、旧富崎小学校に名画が勢ぞろい。

青木繁「海の幸」記念館とあわせて、期間中 1,700 人が来場されました。

青木繁 東京美術学校を卒業した明治37(1904)年夏、友人と恋人と4人で布良(館山市)の小谷家に滞在し、『海の幸』をはじめ多くの作品を情熱的に描きました。翌年の再来房時、伊戸(館山市)の円光寺で板戸4枚に焼き釘で描いた太平洋の大海は、波の伊ハが制作した欄間彫刻『龍と波』がイメージソースになったかもしれません。青木は神話にも造詣が深く、後に描いた『わだつみのいろこの宮』は布良の潜水体験から構想したといえます。玄界灘の波を描いた遺作『朝日』は今春、佐賀県重要文化財に指定されました。

寺崎武男 青木より3年後に東京美術学校を卒業し、農商務省実業講習生としてイタリア留学。フレスコ壁画やテンペラ画、エッチングなど様々な技法を学び、日本美術史に影響を与えました。法隆寺輪堂や東京大学病院などに壁画を残しています。館山に住んでいた現代彫刻の祖・長沼守敬を慕って、大正期より西ノ浜(館山市)に別荘を持ち、震災後に定住しました。安房高校で美術指導をしながら、多くの房総神話を描き、安房神社や布良崎神社、下立松原神社などに多くの神話作品が奉納されています。

倉田白羊 青木の3年先輩で東京美術学校を卒業し、写生旅行で来房中に会った根本(南房総市)の小谷英子と結婚しました。八幡(館山市)に住み、大正期に富崎小学校をはじめ安房各地で児童自由画教育に尽力しました。美術誌『方寸』最終号は青木繁追悼特集とし、夫婦で編集にあたりました。妻の英子は、布良の隣村・根本の生まれで、米国モンレーに渡ったアワビ漁師(小谷源之助・仲治郎)の妹です。七浦(南房総市)の兄・仲治郎の家には、白羊が描いた襖絵もありました。



寺崎武男の作品を広げるメンバー＝旧富崎小学校で

安房ゆかりの画家たち「の名画を集めた『海とアートの学校まると美術館』

27日から「安房ゆかりの名画展」で公開へ

寺崎武男の遺族200点寄贈

「術館」(青木繁『海の幸』誕生の家と記念碑を保存する会主催、房日新聞社(後援)が27日から5月6日まで、館山市の旧富崎小学校で催される。展示を前にこのほど、館山に定住した洋画家・寺崎武男の遺族から、寺崎の絵画など200点以上が同会に寄贈され、関係者は展示に向けた準備を進めている。

寄贈されたのは、洋画や手帳、手紙など200点以上。洋画は、安房開拓神話や、戦争と平和を題材にしたものが多く、西洋古典画法のテンペラや油絵、銅版画など、多彩な技法で描かれている。11日は、会のメンバーらが寄贈された作品を広げ、どれを展示するか選ぶ準備にいきなっていた。

日本創作版画協会を設立するなど日本美術史に影響を与えた寺崎は、別荘のあった西の浜(同市)に拠点を移し、昭和24年から4年間、現在の

安房高校で美術講師を務めたという。美術部で指導を受けた同会の嶋田博信会長(85)は、「子どもの時には分からなかったが、今になって先生の偉大さを感じている」と感慨深げ。「地域のことを描いた皆さんの素晴らしい作品がよく残っていた。ぜひ大勢の人に見てもらいたい」と話している。

会場は、平成29年に閉校した富崎小学校。校舎の利活用を目的に企画され、3月には地区住民ら延べ100人が、3回にわたり校舎内を清掃した。

寺崎の他に、洋画家の青木繁や倉田白羊の作品も並ぶ予定で、学校周辺でのウォーキングやイベントも企画している。入場無料。

問い合わせは、事務局のNPO法人安房文化遺産フォーラムの池田さん(090-64479-3408)へ。

房日新聞 2019.4.14 付



⇒ 夏休みには「館山の海を愛した画家たち展」を渚の駅ギャラリーで開催予定！ 乞うご期待。

NHK ニュース 2019.4.30

千葉県館山市で、閉校になった小学校の校舎を会場に、地域ゆかりの画家たちの作品を集めた美術展が開かれています。

「布良の海を愛した画家たち展」と題したこの美術展は、おとし閉校になった小学校の校舎を活用して初めて開かれました。

明治から昭和にかけて活躍した、地域ゆかりの3人の画家、青木繁と寺崎武男、それに倉田白羊の作品に加え、地元の子どもたちが描いた模写絵など合わせて 100 点余りが展示されています。

主催した青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会の会長を務める嶋田博信さんは、「小学校が廃校になりまして、利活用を大いにしたい。多くの人に鑑賞してもらえればと思っています」と話していました。



千歳 館山
閉校の校舎で地域ゆかり画家の美術展

「海の幸」の複製画や、昭和24年から4年間で、現在、務めた寺崎武男のびょうぶ絵など、体育館には大型作品、教室には漁具や富崎地区の歴史を紹介するパネルなどが並んでいる。

房日新聞 2019.5.1

絵画100点が来場者魅了
旧富崎小 6日まで「学校まるごと美術館」
安房ゆかりの画家たち
の名画を集めた「海と術館」(青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会主催、房日新聞社なつ後援)が、館山市の旧富崎小学校で開かれている。日本美術史に影響を与えた洋画家の青木繁や寺崎武男、倉田白羊の絵画など100点以上が展示され、閉校となった校舎が「美術館」としてにぎわっている。6日まで、展示されているのは、明治37年に友人らと布良を訪れた青木繁の代表作



寺崎武男の舞台幕の前で開かれたコンサート＝旧富崎小学校で



期間中は毎日午後1時半から、学校周辺でのウォーキングなどイベントを企画。体育館では、寺崎のエッチング画を拡大した舞台幕の前でコンサートもあり、観客を魅了していた。

訪れた実方堯年さん(72)＝南房総市岩糸＝は「画家と地域とのつながりが分かり、歴史を感じることができた」と感慨深げだった。

(写真)

- 左上: 青木繁「朝日」の複製画制作者・島田吉廣氏
- 左中: 父・寺崎武男を語る寺崎裕則氏(日本オペレッタ協会名誉会長)
- 左下: 富崎小学校体育館の展示会場
- 右下: 青木繁「海の幸」記念館(小谷家住宅)



◎ 書籍刊行「子どもとつくる平和の教室」

価格 1,900 円＋税

編集協力：千葉県歴史教育者協議会

発行：はるか書房

どんな授業をすれば、子どもの平和認識は深まるの？ 選び抜かれた教材と白熱する「討論授業」で、子ども・教師そして教室はどう変わったのか。戦争・平和の問題と、日常の生活とを切り結びながら展開された、刺激的な授業実践の記録集。

NPOフォーラム会員の河辺智美さんが、論文「平和学習から生まれた安房地域のウガンダ支援活動」とコラム「館山まるごと博物館活動」を執筆掲載しています。河辺さんは昨年春より、専従としてNPOフォーラムの事務局を担っています。



◎ 第 71 回 歴史教育者協議会全国大会（埼玉大会）

8月3～5日（土日月）会場：草加市文化会館ホール・獨協大学

*一般市民も参加OK！

8月2日（金）〇プレコース	
【A】草加宿と草加せんべい（2,500 円） 【B1】小江戸 川越（3,000 円） 【B2】小江戸 川越（2,700 円）	
8月3日（土）〇全体会 会場：草加市文化会館ホール ・記念講演 内田良氏（名古屋大学准教授） 「学校をカエル！～『教育』の病から抜け出すために」 ・現地報告 「ともに生きる、ともに歩む～子ども・教師・地域がともに学ぶ未来とは」	【参加費】 ・教員・歴教協会員 ＝事前：5,500 円、当日：6,000 円 ・一般・学生 ＝事前：1,500 円、当日：2,000 円 ・分科会1日参加＝3,000 円 ・学生ボランティア 無料
8月4・5日（日月）〇分科会 会場：獨協大学	
8月4日（日）〇地域に学ぶ集い 会場：獨協大学	
8月6日（火）〇現地見学会 【C】日本初の飛行場跡・ポツダム宣言を受信した戦跡をめぐる（12,000 円） 【D】隣国との友好を考える…秩父～高麗郷をめぐる（12,500 円） 【E】古代上毛野・武蔵の古墳をめぐる（10,500 円） 【F】埼玉の自由民権を考える～秩父事件と秩父（29,500 円） 【G】女性の歴史を考える～富岡製糸場・荻野吟子（29,500 円） 【H】足尾銅山鉍毒事件と田中正造に学ぶ～日本の公害の原点 （8月5～7日：2泊3日41,250 円、8月5～6日：1泊2日28,250 円）	
<主催> 歴史教育者協議会（豊島区南大塚 2-13-8 千成ビル／03-3947-5701）	



※ 分科会「22 父母市民の歴史教育」に、NPOフォーラム会員の関和美さんが発表します。

◎ 第 23 回 戦争遺跡保存全国シンポジウム熊本大会

～戦争遺跡の保存活用と地域をつなぐ平和活動～

8月24～26日（土日月）会場：熊本市国際交流会館（KCIC）

8月24日（土）〇全体会 ・記念講演 猪飼隆明氏（大阪大学名誉教授） 「熊本城と軍都熊本」 ・全国交流集会	【参加費】 ・一般＝1日間：1,000 円、2日間：2,000 円 ・大学（院）生＝1日間：500 円、2日間：1,000 円 ・交流会＝6,000 円
8月25日（日）〇分科会	
8月26日（月）〇現地見学会 Aコース：熊本市内の戦跡をめぐる（2,500 円） Bコース：菊池飛行場と黒石原奉安殿をめぐる（3,800 円 ※昼食付）	
<主催> 戦争遺跡保存全国ネットワーク（長野市若里 3-5-5 きぼうの家 TEL:026-228-8415） 現地実行委員会（熊本県玉名市立願寺 126-5 TEL:090-1513-5528）	

※ どちらの大会もパンフレット・申込書あります。NPOフォーラム会員の問合せはNPO事務局まで。